| | |
|---|---|
| 事例No. | 1681 |
| 公表年度 | R4 |
| 団体の属性 | 一般市 |
| 団体名 | 愛媛県今治市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公営企業 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・（公営企業）水道事業<br>・公共施設の集約化等<br>・（行政改革）業務の効率化 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | PPP/PFI |

事例内容・タイトル

DBM 方式による高橋浄水場整備事業

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

# 【愛媛県今治市】
# DBM方式による高橋浄水場整備事業

PPP/PFI　水道事業

愛媛県今治市上下水道部上下水道政策局水道工務課

## ● 取組の概要

「安全で安心な水道水」「災害に強い強靭な水道」「持続可能な水道」を実現するため、DBM（Design Build Maintenance）方式※による新規浄水場（高橋浄水場）の移転更新を行った。

※DBM方式：PFI手法のひとつで、設計、建設、維持管理を一括発注する方式。

**◆総事業費**　設計建設費約100億円、 20年間のメンテナンス費　約20億円

**◆背景**

- 従前の浄水場は、老朽化の進行や不十分な耐震性能、水質強化の必要性等の課題を抱え、早急に対応する必要があった。また、水道事業の効率化を図るため施設の統廃合を進める必要もあった。
- これらの課題を解決するため、新しい浄水場への移転更新に係る取組を検討することとした。

**◆具体的内容**

- 学識経験者等で構成する「水道施設整備検討審議会」において、民間事業者の技術力やノウハウを最大現に活用でき、かつ市域全体での運転管理に即した手法としてDBM方式を採用し、総合評価一般競争入札で発注することとした。

**◆効果**

- DBM方式で実施することにより、設計費・施設整備費・メンテナンスそれぞれに係る経費を削減できる見込みとなった（▲約6.8億円）。
- DBM方式で実施することにより、民間事業者の技術力やノウハウを最大限に活用することができ、本事業に内在するリスクに対しても対応力を高めることとなり、市内の他の施設との一元管理も継続することが可能となった。

## ● 取組のポイント

- 施設完成後の運転管理手法をMaintenance 方式とすることで、高橋浄水場において一元管理が可能となり、市内の他施設の遠方監視設備も高橋浄水場へ整備し、運転管理費用の削減を図った。また、20年間において各種機器等の動作保証が可能となったことで、維持管理おける安全性の向上を図った。
- 円滑な工事の進捗を図るため、月1回総合会議を開催すると共に、必要に応じて各種分科会（土木・建築・機械・電気）を開催し問題点の洗い出しや対応策の協議を行った。

## ● 公営企業情報

- 行政区域内人口　153,532人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　419.21km$^2$（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　148,532人（令和3年度決算）

高橋浄水場



## ● 取組のスケジュール

- 平成26年11月に水道施設整備検討審議会を開催し、平成29年9月に高橋浄水場整備等事業に係る基本契約を締結。
- 令和4年3月から運用開始。

## ● 今後の展望

- 運用開始後1年目のため、運転指導により適正な運転管理の習得を早期に目指す。
- 20年間のメンテナンス業務が始まったところで、適正に行われるよう今後モニタリングを行っていく。